（一財）八尾市人権協会　〒581-0004 八尾市東本町 3-9-19-312　TEL072-924-9853　FAX072-924-0134

2026 年 7 月 22 日号
NO 4 号

じんけんを「他人ごと」から「自分ごと」へ

OYAOYA 通信

学びのホームグラウンド　じんけん楽習塾

じんけんにゃんだふる　じんけんわんだふる

7 月 22日のじんけん楽習塾は「産婦人科医の相談現場の話し～生きづらさを抱えた方々の周囲の人の役わり～」がテーマです。講師は藤田圭以子さん（糸氏クリニック /プライドセンター大阪）です。

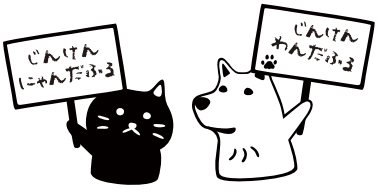
産婦人科・ジェンダー相談員

みんなのふりかえり　4回目7/8

女性の生きづらさはどこから？
～性暴力、SRHR、共同親権を考える～

高見　陽子さん
（ウィメンズセンター大阪　スタッフ）

第 4回目の楽習塾では、ウィメンズセンター大阪より、高見陽子さんにお越しいただき、女性の生きづらさについてお話を伺いました。女性が社会によって抱えさせられている様々な困難について包括的に学びました。性的同意とは何か。や、共同親権の問題性はなにか。という問いについては、グループワークをもって、より重点的に学びを深めました。



＜参加者の感想＆ふりかえり＞

●性的同意や共同親権に対する自分の認識がまだボヤっとしていることを実感しました。

●とてもとてもエネルギーを使う時間となりました。日頃、目を背けておかなければ息ができないと自分が感じていることを改めて感じました。モデルのなさが大きく影響していると思います。今日、私にとって、高見さんがステキなモデルのお一人となりました。ありがとうございました。

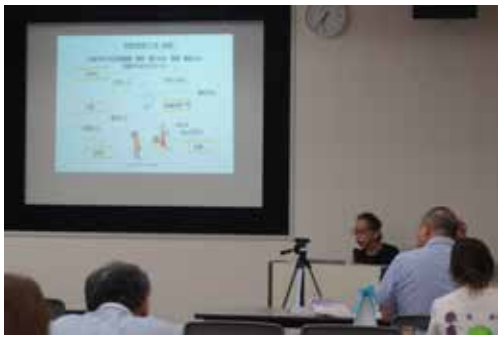
●性的同意についての「同意」をこれまでかなり自分勝手に了解していたことに気付ました。6 つの内容についてもっと広めていかないと思います。

●鳥取県の性暴力被害者支援組織の立ち上げ、相談員育成では、SACHICO より講師として何度もお越しいただき、学ぶ機会をいただきました。最近は、性暴力被害者支援研修は、対応ノウハウや実態を伝えることに留まるものが多く、人権を基礎に据え、社会の構造、あり方まで言及した講座は久しぶりでした。

共同親権の問題は、わたし自身の思考の偏りに気づくことができ、とても勉強になりました。職場の相談員（男女共同参画センター）と共有したいと思います。

ありがとございました。

（一財）八尾市人権協会　〒581-0004 八尾市東本町 3-9-19-312　TEL072-924-9853　FAX072-924-0134



●女性や性について、いろいろな人と話せて学びになりよかったです。なかなか生きづらい社会の中の女性ではありますが、子どもたちの未来を考えたときにも話しながらいきたいと思います。

●男女共同参画社会基本法がでて 27 年。第 6 次男女共同参画基本法まできている。毎回新しい課題が追加され是正していこうとしているにも関わらず、歩みは牛歩の如く。先生が法律一つ変わるのに 100 年かかると言われるように 1 世紀かかって変わった不同意性交等罪の法律もしっかり使って欲しいと願うばかりです。

●マジョリティの特権性に改めて気づかされました。みんなが生きづらさをかんじていることに納得していました。その納得が女性の生きづらさに気づいていなとハッとなりました。

●なんとなく肌で感じていること（性暴力や女性の健康と権利など）をハッキリと語源化されるとスッと心に情報が入ってきました。共同親権のことは全く知らなかったので知れて良かったです。そしてまだまだ女性軽視が蔓延るこの社会でどうなって行くのか関心を持ち続けたいと思います。話し合うこと大切、話し合うことで気付きが得れる（それが出来るじんけん楽習塾大事）今回も有意義な時間をありがとうございました。

●性的同意とは何かという問いに対して、男性表象の参加者から、『同意』といっても、断りづらくて言ってしまったという場合もあって、それに気づかなかったらそれは同意の上と言えるのか。と発言があったのがよかった。社会の中で、男性と女性のパワーバランスが解消されていないのに、果たしてフェアな『同意』が得られるのかいつも疑問に思う。男女のペアだけでなくとも、ほとんどすべての関係性で、公平性が担保されるとは想像しがたい。同性同士の関係性であっても、お互いの収入や発言力など様々な要素によって力関係が作られてしまう。そういう前提を持って、慎重と緊張を持った人との関わりが重要だと思った。

●性教育について、「NO」が言えるフェミニストばかり模範にされているのがナンセンスだと思う。例えば、「NO」が言えなくても、その後自分で自分のことをケアできる方法はなにか。そもそも、「NO」と言わせない相手が悪い。と学ぶ機会が大事。強くて、白黒ハッキリ言える子だけじゃないから、より具体的で実践的で多様な「NO」を身につけていく教育が必要だと思った。

★今回の OYAOYA 川柳★

それぞれが 自分らしさを 大切に（さち）
思い込み 気付いたときに リニューアル（さち）

連絡

毎回ふりかえり用紙をくばります。オンラインの場合はファイルを送ります。
後でメールまたは、ファックスでもいいので送ってください。お願いします。通信に反映させたいと思います。（公開だめなものはオープンにしません）

写真を撮影しますが、ＯＹＡＯＹＡ通信、八尾市人権協会のホームページなどで使用する場合があります。なるべく個人が特定しにくいものをと考えていますが、困るという方は事務局に申しつけください。